

環境を学ぶ学生研究連携ネットワークの構築に関する研究	
題目	BRIDGE LIFE Platform (BLP) 構想を通じた成熟度評価
著者	小野田弘士

1. 概要

埼玉県久喜市の南栗橋駅前街区におけるグリーンフィールド型のプロジェクトとして、「BRIDGE LIFE Platform(BLP) 構想」を推進している。本プロジェクトを通じて、さまざまな技術開発・実証研究を展開するとともに、産学官民連携体制により、プロジェクト関係者、小野田研究室の学生が参画している。

2. 「BRIDGE LIFE Platform(BLP) 構想」の概要

「BRIDGE LIFE Platform 構想」は、埼玉県久喜市の南栗橋駅前街区で進められているいわゆるグリーンフィールド型のまちづくりと次世代モビリティの導入検討を一体的に進めているプロジェクトである。2021年11月10日、久喜市、東武鉄道株式会社、トヨタホーム株式会社、イオンリテール株式会社、早稲田大学小野田研究室の5者間協定により、まちづくりを推進していく旨を公表し、2022年5月26日にまちびらきのイベントを実施した(図1、2)。ここでの筆者らの役割は、自動配送や非接触ゴミ収集のモビリティの新しいコンセプトを提示し、社会実装に向けた取り組みを推進するとともに、地域市民向けに環境教育等の推進もし、社会受容性の獲得に向けた取り組みを推進している。

3. 2023年度の研究成果

- 2023年度の主たる活動は下記のとおりである。
- 下記のまちづくりに関するイベントに参加し、開発品の展示等を行った。
 - 2023年6月10-11日 南栗橋8丁目周辺地区のまちづくり ～BRIDGE LIFE Platform 構想～ 『街びらき1周年記念感謝祭』。
 - 2023年12月3日 南栗橋8丁目周辺地区のまちづくり ～BRIDGE LIFE Platform 構想～ 『BLP イルミネーション2023』点灯式
 - イベントの来場者や住民向けのアンケート調査等を行い、移動販売やモビリティシェアリング等のニーズ把握等を行った。
 - XRL (X Readiness Level)による熟度評価の高度化を目指し、評価結果に基づくロードマップを提示した(図3)
 - 以上の取り組みが評価され、“2023 グッドデザイン賞 産官学5者連携による地域活性化モデル事業「BRIDGE LIFE Platform 構想」”を受賞した。

謝辞

本研究は、筆者が関与している「BRIDGE LIFE Platform 構想」、 「本庄早稲田モビリティ共創プロジェクト」の成果の一部をまとめたものである。関係者の皆様に御礼申し上げる。



図1 「BRIDGE LIFE Platform 構想」の記者発表 (2021年11月10日)



図2 南栗橋 BLP 街区における搭乗体験の様子



図3 南栗橋 BLP におけるロードマップの試案